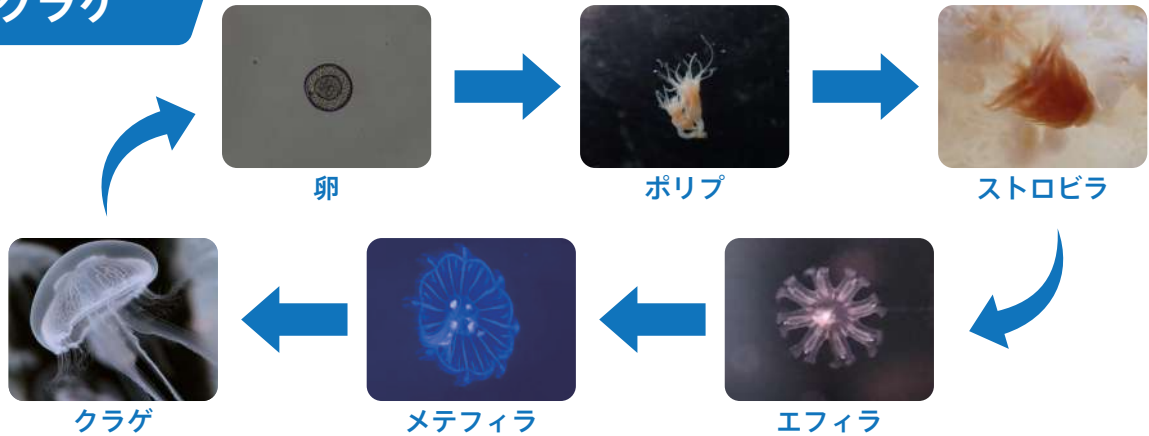


# 生きものたちのいのちの誕生 たんじょう

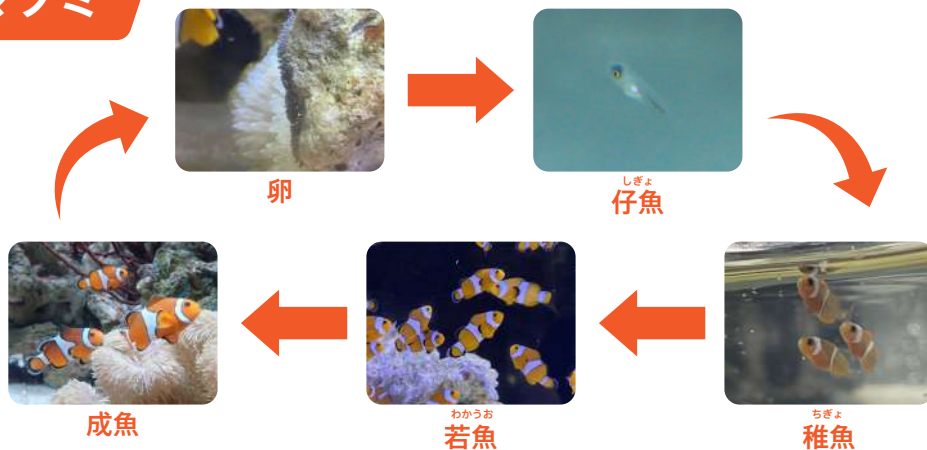
リトルライフ(1F)では、マクセル アクアパーク品川で繁殖した生きものを展示しています。  
ミズクラゲ、カクレクマノミを比較しながら、  
それぞれの生きもののいのちの誕生 たんじょうについて学んでいきましょう。

## ミズクラゲ



ミズクラゲは[ ]のなかま。からだの約[ ]%が水分でできています。  
[ ]と、クラゲの2つの世代を交代しながら生活します。  
ポリプは[ ]によって数を増やし、[ ]などをきっかけに、  
お皿を重ねたような姿のストロビラとなり、やがてエフィラが泳ぎだしていきます。  
そして、メテフィラへと成長し、クラゲの姿すがたになっていきます。

## カクレクマノミ



カクレクマノミはイソギンチャクと[ ]しています。  
からだの[ ]が特別でイソギンチャクに刺さされることはありません。  
群れの中で体の1番大きな個体が[ ]で、2番目が[ ]。  
メスが群れからいなくなると、オスがメスに性別を変える[ ]をします。  
卵はイソギンチャクの近くに産み付けられ、おもにオスが世話をし、メスは外敵かいてきが近づくと  
追いはらい、必死に卵を守ります。卵から[ ]日程で生まれ、海面をただよいながら  
[ ]を送り、その後、親と同じ姿すがたへと成長していきます。

# ● どうして水族館で生きものたちを繁殖させるの？ ●

現在、地球上の一部の生きものたちは絶滅の危機に瀕しています。  
生きものたちを守るために、水族館ではさまざまなことに取り組んでいます。



種の生息域を守る取り組み

いきないほぜん  
**域内保全**



生息域の外で種を守る取り組み

いきがいほぜん  
**域外保全**

現在、生きものたちの生息している環境は[ ]や、生息域の[ ]

などで急速に失われています。そこで、水族館や研究施設などの生息域の外で、  
生きものを繁殖することで、野生復帰の助けとなるように、域外保全を行っています。

繁殖をさせることで、その生きものの生息環境を詳しく調べたり、自然では観察することが  
できなかった新しい情報を見つけることもでき、域内保全にも貢献することができます。

そして、来館された人々に自然環境の重要性を伝え、私たちヒトができることを  
みんなで考えていくことも水族館の使命です。

## 多様な生きものの繁殖方法

マクセル アクアパーク品川には多種多様な生きものがくらししており、  
それぞれの種にそれぞれのいのちの誕生の方法があります。

例えば、サメのなかま ▶▶▶

- 卵を産むもの
- 体内で育てた子どもを出産するもの
- 母ザメの子宮内で共食いをし、  
生き残った個体が生まれる

など、それぞれの生きものごとに  
さまざまです。



アクアパークで  
飼育している「ツマグロ」は  
どうかな？

自分の興味のある生きものが  
どんなところに生活していて、どのように生まれるのか、調べてみましょう。